

## 令和4年度 蔵王山噴火時対応訓練を実施しました

6月29日（水）に蔵王山噴火時対応訓練を実施しました。

仙台管区气象台から蔵王山の噴火警報（火口周辺）が発表されたことを想定し、行動計画に基づいてフェーズ1からフェーズ5まで、各フェーズに対応した訓練を行いました。はじめにフェーズ1では、保護具準備や一次混和池へのブルーシートによる仮設覆蓋の設置訓練や各薬品の備蓄量及び発注計画の策定等を行いました。

火山灰の降灰が想定されるとしてフェーズ2へ移行し、屋外の浄水施設操作盤の養生を行いました。また、短時間で一斉送信が可能なインターネットFAXと電子メールを活用した関係機関（本局及び受水市町）への情報伝達と、受信確認を行いました。電子メールを活用した情報伝達訓練では、受信確認の際に手間取ってしまい時間がかかってしまいました。

その後、噴火の発表があったとしてフェーズ3へ、火山灰を含んだ水の流入の可能性があるためフェーズ4へ、浄水場内への降灰が確認されたとしてフェーズ5へ移行し、各フェーズ毎に現地対策本部の設置や、ダム及び上流側流入河川のパトロールの模擬訓練、水処理運転監視の変更等の訓練を行いました。

今回の訓練で新たに、いくつかの改善点が分かり、主なものとしては、各関係機関とのインターネットFAXと電子メール等の情報共有の円滑化、災害対応備品（防護服・防塵マスク・ブルーシート等）の保管場所及び浄水施設の養生作業方法のマニュアルの作成・修正が必要であることを観取しました。

また今後とも定期的な訓練や研修の実施により、緊急時において迅速かつ的確な対応が行えるように技術向上に努めてまいります。



運営権者からの現況報告



現地対策本部 会議状況



養生状況（1）



養生状況（2）